

高山市の脱炭素化に向けた 今後の自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の進め方について

< 現行の高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会 >

○委員数

- ・ 9人（高山市自然エネルギーによるまちづくり設置要綱では、15人以内）

※オブザーバー無し

○構成委員（高山市自然エネルギーによるまちづくり設置要綱）

- ・ 自然エネルギーについて識見を有する者（小水力発電、木質バイオマス（発電・熱供給）、地熱発電）、事業所、金融機関、NPO法人等関係団体、市職員



< 脱炭素を取り巻く動向等 >

○高山市の脱炭素化（2050市全域ゼロカーボン）に向けた施策（資料3（別紙））

- ・ 高山市は、2050市全域ゼロカーボンに向けて、脱炭素先行地域づくり事業、再生可能エネルギーの新たな支援制度、卒FIT電力等を活用した再エネ電力の供給を推進し、水素の利活用、モビリティ（自動車等）の電動化を検討する。

○国・県等の脱炭素化に向けた動き

- ・ 国は、ペロブスカイト太陽電池の実用化等を検討している。
- ・ 県は、石炭の代替となるバイオコークス（牛ふんや木くずなどを原料）の実用化に向けた研究等を進めている。



< 今後の検討委員会の進め方（検討案） >

脱炭素先行地域づくり事業の課題等の検証を進めるとともに、脱炭素を取り巻く動向や社会情勢に応じた多層的エネルギー供給（水素、バイオコークスなど）の可能性や重層的な社会システムの構築（経済循環、環境保全活用、防災、人材育成など）のあり方等を様々な情報や技術を学習し検討していきたいため、視察や勉強会等を取り入れた委員会の進め方を検討